

平成25年度事務事業評価表(平成24年度振り返り)

政策名		にぎわいと活力あふれるまち		施策番号・名		5		地域力向上への支援		基本事業番号・名		05-02		地域間交流の推進				
事務事業番号	所管課係名	事務事業の概要 (根拠法令等、財源、上乗、形態)	事務事業の目的 事務事業の対象、手段(事業内容)、意図	対象指標 (対象の数値指標化)		活動指標 (手段の数値指標化)		成果指標 (意図したことの結果の数値指標化)		事務事業全体				一般財源分				全庁評価会議 (26年度に向けた方向性等)
	所管課長名			指標	実績値 (単位)	指標	実績値 (単位)	指標	実績値 (単位)	事業費 (実績額) ① (千円)	人件費 (理論値) ② (千円)	トータル コスト ①+② (千円)	事務事業の方向性、項目別評価 及びその理由等	特定財源に伴う一般財源		一般財源		
	事務事業名													事業費 (実績額) (千円)	事業費の概要説明	事業費 (実績額) (千円)	事務事業の方向性、項目別評価 及びその理由等	
05-02-01	生活文化課 (地域コミュニティ担当)	■ 自主的 □ 義務的 □ 努力義務的 (市・高崎市) 地域間交流に関する協定書	対象 市民	平成24年度	115,840 (人)	平成24年度	5 (回)	平成24年度	148	823	971	25年度以降方向性 現状維持 26年度以降方向性 現状維持 説明欄：榑名町との姉妹都市締結から20年以上経過しており、市民同士の交流は定着しているが、高崎市との合併後、市の一部エリアを対象とした行政間の交流は方向性が見えにくくなっている。27年度末に現在の協定の期限を迎えることから今後の交流のあり方について検討する必要がある。	25年度以降方向性 現状維持 26年度以降方向性 現状維持 説明欄：榑名町との姉妹都市締結から20年以上経過しており、市民同士の交流は定着しているが、高崎市との合併後、市の一部エリアを対象とした行政間の交流は方向性が見えにくくなっている。27年度末に現在の協定の期限を迎えることから今後の交流のあり方について検討する必要がある。	148	25年度以降方向性 現状維持 26年度以降方向性 現状維持	25年度以降方向性 現状維持 26年度以降方向性 現状維持 説明欄：榑名町との姉妹都市締結から20年以上経過しており、市民同士の交流は定着しているが、高崎市との合併後、市の一部エリアを対象とした行政間の交流は方向性が見えにくくなっている。27年度末に現在の協定の期限を迎えることから今後の交流のあり方について検討する必要がある。		
	生活文化課長 保木本 健一			平成23年度	116,067 (人)	平成23年度	6 (回)	平成23年度	87	713	800							
	地域間交流事業			財源 □ 全額補助 □ 一部補助有 ■ 市全額	手段・内容 高崎市榑名地域と協定に基づく地域間交流事業を実施	平成22年度	116,549 (人)	平成22年度	7 (回)	平成22年度	128						990	1,118
	上乗 □ 市独自上乗せ(上乗・横出)			事業形態 ■ 直営(委託無) □ 全部委託 □ 一部委託 □ 補助・助成金 □ その他()		意図 榑名地域を第二のふるさととして交流してもらう	平成22年度	116,549 (人)	平成22年度	7 (回)	平成22年度						128	990
05-02-02	生活文化課 (地域コミュニティ担当)	■ 自主的 □ 義務的 □ 努力義務的 (市・高崎市) 地域間交流に関する協定書(市・高崎市) 覚書(市) 地域間交流宿泊施設利用助成金交付要綱	対象 市民	平成24年度	115,840 (人)	平成24年度	13 (施設)	平成24年度	113	117	741	25年度以降方向性 縮小 26年度以降方向性 縮小 説明欄：榑名町との姉妹都市締結から20年以上経過しており、市民同士の交流は定着している。年に一度広報紙により宿泊助成を含めた榑名地域に関する案内を行っているが、助成券の利用者は年々減少している。高崎市との合併後、市の一部エリアを対象とした行政間の交流は方向性が見えにくくなっている。27年度末に現在の協定の期限を迎えることから今後の交流のあり方について検討する必要がある。	25年度以降方向性 縮小 26年度以降方向性 縮小 説明欄：榑名町との姉妹都市締結から20年以上経過しており、市民同士の交流は定着している。年に一度広報紙により宿泊助成を含めた榑名地域に関する案内を行っているが、助成券の利用者は年々減少している。高崎市との合併後、市の一部エリアを対象とした行政間の交流は方向性が見えにくくなっている。27年度末に現在の協定の期限を迎えることから今後の交流のあり方について検討する必要がある。	117	25年度以降方向性 縮小 26年度以降方向性 縮小	25年度以降方向性 縮小 26年度以降方向性 縮小 説明欄：行財政改革アクションプラン3(2) 補助金の適正化に向け検討中		
	生活文化課長 保木本 健一			平成23年度	116,067 (人)	平成23年度	13 (施設)	平成23年度	195	195	669						864	
	地域間交流宿泊施設利用助成事業			財源 □ 全額補助 □ 一部補助有 ■ 市全額	手段・内容 高崎市榑名地域の宿泊施設と協定を結び、市民の宿泊費の一部を助成する	平成22年度	116,549 (人)	平成22年度	13 (施設)	平成22年度	273						891	1,164
	上乗 □ 市独自上乗せ(上乗・横出)			事業形態 □ 直営(委託無) □ 全部委託 □ 一部委託 ■ 補助・助成金 □ その他()		意図 榑名地域を第二のふるさととして交流してもらう	平成22年度	116,549 (人)	平成22年度	13 (施設)	平成22年度						273	891
05-02-03	生活文化課 (地域コミュニティ担当)	■ 自主的 □ 義務的 □ 努力義務的 (市・高崎市) 地域間交流に関する協定書	対象 市民	平成24年度	115,840 (人)	平成24年度	2 (回)	平成24年度	10	330	340	25年度以降方向性 現状維持 26年度以降方向性 現状維持 説明欄：榑名地域は群馬県内でも有数の農業エリアであり、榑名地域において商工会及び農協が存続し、活発に交流事業が展開している。特に11月に行われる市民みんなのまつりでは、榑名の農産物を待ちわびる市民が多い。しかしながら、東久留米市側から発信することがあまりないのも事実である。榑名地域の意向を尊重して当面は継続していく。	25年度以降方向性 現状維持 26年度以降方向性 現状維持 説明欄：榑名地域は群馬県内でも有数の農業エリアであり、榑名地域において商工会及び農協が存続し、活発に交流事業が展開している。特に11月に行われる市民みんなのまつりでは、榑名の農産物を待ちわびる市民が多い。しかしながら、東久留米市側から発信することがあまりないのも事実である。榑名地域の意向を尊重して当面は継続していく。	10	25年度以降方向性 現状維持 26年度以降方向性 現状維持	25年度以降方向性 現状維持 26年度以降方向性 現状維持 説明欄：榑名地域は群馬県内でも有数の農業エリアであり、榑名地域において商工会及び農協が存続し、活発に交流事業が展開している。特に11月に行われる市民みんなのまつりでは、榑名の農産物を待ちわびる市民が多い。しかしながら、東久留米市側から発信することがあまりないのも事実である。榑名地域の意向を尊重して当面は継続していく。		
	生活文化課長 保木本 健一			平成23年度	116,067 (人)	平成23年度	2 (回)	平成23年度	5	357	362							
	地域間交流産業交流事業			財源 □ 全額補助 □ 一部補助有 ■ 市全額	手段・内容 ジャンボ梨コンテストでの市長賞授与や、市民みんなのまつりでの出店など、地域産業間での交流を実施	平成22年度	116,549 (人)	平成22年度	2 (回)	平成22年度	9						396	405
	上乗 □ 市独自上乗せ(上乗・横出)			事業形態 ■ 直営(委託無) □ 全部委託 □ 一部委託 □ 補助・助成金 □ その他()		意図 榑名地域を第二のふるさととして交流してもらう	平成22年度	116,549 (人)	平成22年度	2 (回)	平成22年度						9	396